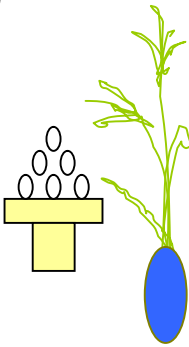
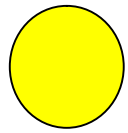


宝寿院だより 菩提樹

第3号 ぼ だい じゅ



宝寿院歳時記

猛暑に見舞われた今年の夏も 大過なく過ぎ去り 秋の気配が確実に感じられる頃となりました。当院の庭にも 秋の七草が「やっと出番がきたよ。」と花盛りです。

秋の七草.....^{はぎ}萩・^{すすき}すすき・^{くず}くず・^{ふじばかま}ふじばかま・^{なでしこ}なでしこ・^{おみなえし}おみなえし・^{ききょう}ききょう (平安時代には朝顔と言ったそうです。) 日本語はとても難しいですね。七草のうち いくつ書けて読めますか。当院にないのは 藤袴です。 お参りのときに七草を探してみませんか。

庭では 萩がのびのびと咲き誇っています。四季咲きの高台院萩が 6月に咲き終わった枝を剪定したところから柔らかい枝が伸びて 美しいピンク色の花をつけています。時々参詣の方が 立ち止まってご覧になっています。光明殿建設のときに移植した 真白の花を咲かせている萩は種類が分かりませんが 一番大きく成長して2m以上の草丈です。

薄の葉には 蛭が停まったように黄色の斑点ができています。 9月24日の仲秋の名月に七草を生けてお供えをいたしましょう。^{しおん}紫苑・^{むらさきしきぶ}紫式部・^{ほととぎす}不如帰・秋菊などこれから当院の庭を彩ってくれます。猛暑を耐え抜いて 鮮やかに咲くとき 私どもはただただ自然の営みに感心してしまいます。 9月22日の永代経が 終わりますと急に秋が深まり 当院では正月準備が始まります。紅葉の色づきとともに 秋の1日を味わってください。毎月1・8・15日は10時から薬師ごまが厳修されていますので どうぞ 御参詣ください。お待ちしております。

宝寿院の歴史

今より1200年の昔 弘法大師が 熱田の宮に参籠された時 津島の弥五郎殿(現在の神社)に参られました。その傍らに 薬師如来を安置されました。後に本地堂が建立され 護摩供が厳修されるようになりまし。本地堂は明治1年の 廃仏毀釈により取り壊されて 現在神社の宝物館があります。 当時 別当職社僧の 宥三和尚は 往時の本地堂を現在の場所に移築して なんとか残したいと必死の努力をしましたが 以来百年やっと 昭和56年本堂が再建されるまで、歴史の谷間の中で参道もなくなり神宮寺であったことさえ 忘れられていたのです。お堂は新しい建物ばかりとなりましたが、厄除け薬師の 霊験は 今も生き続けて私たちを救っておられます。

遍照講だより 福島県いわき市小名浜から10月4・5日の講習会へ 渡辺叡照本部師範の先生がお越しくださいます。会場は名古屋市北区護国院様です。検定会も開催されますので 検定を受けられます講員サンは がんばってください。

お願い 線香・ロウソクの台へ お金を 置かない様に お願いいたします。見つけた時は 賽銭箱へ入れてください。お正月は 厳しい環境ですので 皆様のご協力をお願いいたします。

先日 8/24 お施餓鬼の時 ご協力いただきました トルコ地震義援金 合計 6500円となりましたので 赤十字の窓口へ振り込みました。ありがとうございました。

9/21 老人ホーム 天王川荘へ 御詠歌講の皆さんが 慰問いたしました。